

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (  可 ・  否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 生 業	(ふりがな) なりわい	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	野鍛冶		
伝承地域	いわき市遠野町		
由来	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか)</p> <p>かつては、どこのまちにも鍛冶屋(野鍛冶)はあった。地域の生活に密着した、また、大きさや形も希望するものを作っていた。しかし、昭和30年代になると機械化や安価な大量生産の用具の流通により、鍛冶屋は少なくなっていった。</p>		
内容	<p>(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</p> <p>農具や漁具などを手掛ける鍛冶屋は「野鍛冶」とよばれ、「刀鍛冶」、「鉄砲鍛冶」とは区別された。野鍛冶はかつて各地に数多く存在し、鍬・鋤等の農作業の用具、斧・鉈等の山仕事の用具や金舌等の漁具を作っており、それぞれの地域での生活に合った用具作りを得意としていた。</p> <p>鍛冶職人は、文部省唱歌に歌われているように、鞴(ふいご)を引きながら鉄を高温に熱して鋸音高く何度もたたきながら(鍛造)、用具の形にした。燃料は、コークス、石炭、木炭などである。</p>		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	いわき市遠野支所	電話	0246-89-2111

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	長谷川昭三	※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢	男 ・ 女 85歳	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成3年9月4日 生	
	住所・電話	〒 電話 いわき市遠野町上遠野字本町 51-2	
団体	職 業	鍛冶屋	
	団体名 (ふりがな)		
	代表者氏名 (ふりがな)		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日
	問い合わせ先		電話

【フリーフォーマット】

キーワード



(写真左)：フイゴを引き火力を強める



(写真右)：斧(ヨキ)を作る長谷川さん

いわき市遠野町に住む長谷川昭三さん(85)は、50年以上、野鍛冶の仕事をしている現役の鍛冶屋さん。道具は祖父、父親と譲り受けたものを、修理しながら今でも大切に使っている。

(平成 25 年 10 月撮影)



(写真左)：長谷川家に昔から伝わる掛軸  
一番下は、刀鍛冶と鬼が刀を作っている。